

JCBL 公認コンベンションリスト

(2025 年 5 月 1 日から施行)

(下線部は本年度改定部分)

☆ JCBL 公認競技会では別途定められた競技会を除き、JCBL 公認コンベンションリストで使用が認められると記載されているシステム／コンベンション（及び該当すると認定されたもの）しか使用できない。

記載されていない、あるいは該当しないことは「使用できない」ことを意味する。（システム／コンベンションが認められるものか否かはディレクター並びに最終的には競技委員会が判断することである）

☆ システム／コンベンションは相手側への「完全な情報の公開 (Full disclosure)」を前提として使用が認められている。従って、以下はシステム／コンベンション使用者の義務であることを充分認識されることを強く希望する；

- ・ 自分たちが使用しているシステム／コンベンションに相手側が不慣れであることからいかなる利益も得ることがないよう努めること。
- ・ 複雑なシステム／コンベンションを使用するペアは、相手側の理解を助けるためのあらゆる努力を惜しまないこと。レベル／技量が上のペアは、下のペアに対して特に配慮しなければならないこと。
- ・ 「アラート」は相手側への「完全な情報の公開 (Full disclosure)」のための手段であること。そして、アラートしたことが相手側に伝わったことを確認する義務も伴っている。
- ・ 相手側への説明では、全く同じに解釈されとは限らないコンベンション名や「普通」あるいは「ナチュラル」といった曖昧な言葉を極力避け、具体的な説明を行うよう努めること。

☆ サイキックすることは戦法として規則により認められていることであるが、レベル／技量が明らかに下のプレイヤーに対して行うサイキックは、スポーツマンシップに反する行為であることと認識すること。

- ・ 「サイキック」とは、HCP あるいはスートの枚数を「パートナーとの合意事項」から大幅（4 点あるいは 2 枚以上）かつ故意に偽るコールを言い、標準的なコールとの乖離を必ずしも意味しない。従って、ストロング 2 とウィーク 2 を間違えてオープンするなどは故意に偽る意図がないのでこれに該当しない。
- ・ サイキックビッドは「タクティカルビッド」「ウェイティングビッド」とは異なる。
 - ・ タクティカルビッド例：
♠QJxxx ♥Ax ♦xxx ♣KQx：1♠オープンに対し 2♦をビッド
 - ・ ウェイティングビッド例：
♠Axxx ♥xxx ♦xxx ♣AQJ：1♠オープンに対し 2♣とビッド

リスト D までは以下の使用を禁止する：

1. 以下に該当するサイキック

- a) コンベンショナルなオープニングビッドのサイキック
- b) 2NT 以下のレベルのオープニングビッドに対するコンベンショナルなレスポンスのサイキック（オープニングビッドに対して相手側の介入が有った場合を除く）

2. 1 の代のオープニングビッドを 7HCP 以下のハンドで行う合意（サイキックは含まない）

3. HUM システム及び Brown Sticker コンベンション

- ・ サイキックコールが予測されるか又はシステムにより保護されている場合は Brown Sticker に分類される。

定義

1. ナチュラル：

- 1) パートナーに付随的な情報を伝えることなく、コントラクトを示唆するコール。
コンベンション規制の対象にならないが、一般的でないものはアラートする必要がある。
- 2) マイナースーツは3枚以上、メジャースーツは4枚以上のスーツによるオープンとレスポンスは、ナチュラルである。例外として 4432 を含む 1♣オープン及び 1♣オープンに対する 3325 を含む 1♦レスポンスはナチュラルである。（ただしアラートは必要）
- 3) 1NT オープンは、バランスハンド（一般にシングルトン／ボイドが無く、ダブルトンが1つまたは2つ）ならばナチュラルである。
ただしトップアナー（AKQ）のシングルトンがあり、かつ他にダブルトンがないハンドを含む合意もナチュラルとみなす。
- 4) オーバーコールは4枚以上、2の代以上のオープンは5枚以上を示せば、ナチュラルである。

2. トリートメント：

パートナー間の合意で付随的な情報を伝えたり要求したりする、或いはそのスーツでプレイする意志のあるコール。

例) NT オープンの点数範囲、フォーシングビッド、ウィーク 2 オープン、リミットレイズ、インバーテッドマイナーレイズなど。

コンベンション規制の対象にならないが、一般的でないものはアラートする必要がある。

3. コンベンション：

- 1) パートナー間の取り決めで、必ずしもビッドしたスーツとは関係のない情報を伝えるコール。
- 2) 推論ではなく、取り決めにより情報を伝えるディフェンダーのプレイ。
コンベンション規制の対象になる。

4. キュービッド：

- 1) オポネントが示したデノミネーション（NT・♠・♥・♦・♣）のビッド
例) 1NT - pass - 2♦ - 2♥ : 2♦が♥を示すときの 2♥はキュービッド
- 2) 切り札として同意したスーツがすでに味方にあるときに、通常スラムトライの目的で特定のスーツのコントロールを示すビッド（NT を含む）。

○ビッドしたスーツの長さやハイカードを示す／尋ねるキュービッドはトリートメントである。（そのスーツのコントロールやストッパーを示す／尋ねるキュービッド）

○ビッドしたスーツ以外の長さを示すキュービッドはコンベンションとなる。
（マイケルズやパートナーズスーツのサポートを示すキュービッド）

リスト A (マスターポイント 20 点未満の参加制限のある競技会用)

オープニングビッド (Opening bids)

1. ウィーク 2 オープンを含め、すべてのナチュラルなオープニングビッド
但し、HCP とビッドしたスーツ (5 枚以上) の枚数の合計が 10 に満たないウィーク 2 オープンは、コンベンショナルレスポンスを使用しなくても「相手の方法の妨害を主な目的とするコール」と認定し、リスト A ～ C の競技会では使用を認めない。
2. 強い、アーティフィシャルでフォーシングの 2♣オープン
 - ・ ♣の枚数とは無関係にゲームのありそうな強いハンドを示す
 - ・ 強いハンドとは、以下の 1 つを示すハンドとする。
 - (1) 20HCP 以上のハンド
 - (2) 17HCP 以上あるメジャーで 4、マイナーで 3 ルーザー以内のハンド
 - (3) 14HCP 以上かつ 5 コントロール以上あるメジャーで 4、マイナーで 3 ルーザー以内のハンド (コントロール : A=2、K=1)

レスポンスとリビッド (Responses and rebids)

1. すべてのナチュラルなレスポンスとリビッド
2. スтейマン (Stayman) : NT オープンに対し、すぐ上の♣をビッドしてメジャーフィットを探すコンベンション
3. フォーシング 2♣オープンに対するアーティフィシャルな 2♦レスポンス
4. ナチュラルな強い 2 オープンに対し、弱いハンドを示す 2NT レスポンス
5. ウィーク 2 オープンに対し、オープナーのハンド (絵札の持ちぐあい、強さ、トランプの内容など) を尋ねる 2NT レスポンス
6. エースとキングの枚数を尋ねる 4NT、5NT コンベンション (Blackwood) と相手の妨害が入ったときのレスポンス (DOPI、DEPO、ROPI など)
7. ガーバー (Gerber) : 4♣、5♣でエースとキングの枚数を尋ねるコンベンション
8. グランドスラムフォース (Grand Slam Force) : 5NT でトランプの内容を尋ねるビッド
9. ナチュラルな NT オープンに対して、ステイマン、ガーバーを使用する場合は次の条件を満たさなければならない。
 - ・ 1NT オープンは 15HCP 以上で点数範囲は 5HCP 以内のこと
10. サポートを保証するナチュラルなジャンプシフト (フィットショウイングジャンプ、サポートの枚数とジャンプしたスーツの枚数の合計が 9 枚以上)

競り合いのコール (Competitive & Defensive calls)

1. すべてのナチュラルなオーバーコール
2. アンユージュアル NT (Unusual NT) : マイナースーツ又はランクの低いスーツ 2 つに合計 9 枚以上あることを示すビッド
 - ・ まだパスしていないハンドでは 2NT 以上のレベルで使用のこと
3. テイクアウトダブル (Takeout double)
4. ライトナーダブル (Lightner double) : スラムコントラクトに対し普通ではないリードを要求するダブル
5. ネガティブダブル (Negative Double) : 「オープン→オーバーコール→ダブル」のシーケンスでテイクアウトを要求するダブル

6. SOS リダブル(SOS Redouble)：ペナルティダブルをかけられたとき、パートナーにテイクアウトして逃げ出すことを要求するリダブル
7. ゲームフォーシング以上の強さを示すキュービッド
8. サポートとインビテーション以上の強さを示すキュービッド

リードとシグナル (Carding)

1. 上から 4 番目のカードをリードするフォースベスト (Fourth highest)
スモール 3 枚(以上)から：
 - a) 一番高いカードをリードする トップ・オブ・ナッシング (Top of nothing)
 - b) 二番目のカードをリードする MUD (Middle-Up-Down)アナーシークエンスは上のカードをリード (A from AK、K from KQ 等)
K from AK
2. ハイで(リードされた)スーツに関心があることを、ローで関心がないことを表すシグナル (come-on signal/high-low signal/normal attitude signal)
ハイで偶数、ローで奇数とスーツの枚数を教えるカウントシグナル (count signal)
ハイでハイランク、ローでローランクのスーツに対する関心を示すスーツ・プリファランス・シグナル (suit preference signal)

リスト B (マスターポイント 300 点未満の参加制限のある競技会用)

☆リスト A に加えて以下が使用できる。

オープニングビッド (Opening bids)

- 15HCP 以上の強さを示すアーティフィシヤルな 1♣オープン (例：プレシジョン 1♣)
これと組み合わせて使用する場合の枚数を保証しない 10HCP 以上の 1♦オープン (例：プレシジョン 1♦)
- 以下の一つのハンドを示すアーティフィシヤルな 2♦オープン：
 - フラナリー 2♦：5 枚♥と 4 枚♠を持つ 10HCP 以上で点数範囲が 5 点以内のハンド
 - 10HCP 以上で、ショートスーツが特定された以下のディストリビューションのハンド (4441)、(5440)、(5431)
 - 強い、アーティフィシヤルでフォーシングの 2♦オープン (シェンケン 2♦を含む)
(「強い」の定義はリスト A 参照)
- ギャンプリング 3NT：7 トリック程度取れるソリッドなマイナースーツを示すオープン
- エースの枚数および位置を尋ねる 4NT オープン
- ドゥルーリー (Drury) の合意のあるペアは、これが適用される状況での 1♥/1♠オープンは 8HCP 以上であること

レスポンスとリビッド (Responses and rebids)

- 1 の代のメジャースーツのオープンに対する 1NT レスポンスは 1 ラウンドフォーシング
・ゲームフォーシング以上のハンドが含まれることがあっても構わないが、例えば 11HCP 以上といったゲームインビテーション以上の強さを保証してはならない。
6HCP 程度のハンドも含まれること
- ドゥルーリー (Drury)：1 の代のメジャーオープンに対して、既にパスしたレスポndaーがリミットレイズ以上の強さを保証して 2♣とビッドする合意
2♦リビッドはサウンドオープン、オリジナルスーツのリビッドはライトオープンを示す (このリビッドを入れ替えることはリスト B では不可)
- メジャースーツのサポートを示す次のコンベンショナルなレスポンス：
 - ジャコビー 2NT (Jacoby 2NT)：13 点以上のサポートのあるハンドを示す
 - スイス 4♣ / 4♦：ハンドの強さと形を明示すること
 - スプリンター
 - 3NT
- マイナースーツのオープンに対するサポートとゲームフォーシングを示すコンベンショナルなレスポンス：
 - クリスクロス (1♣オープンに対する 2♦、1♦オープンに対する 3♣のレスポンス)
 - スプリンター (1♣ / 1♦オープンに対するダブルジャンプシフトのレスポンス)
- 強い (15HCP 以上) アーティフィシヤルなオープニングビッドと 2♣以上のオープニングビッドに対するアーティフィシヤルなビッド
・ただしウィーク 2 に対してはリスト A 記載の制限を適用する
- オープナーの 2 回目以降の建設的なコールすべて：オープナーによるスプリンター、フォーススーツ・フォーシング、ニューマイナー・フォーシングなど
- エース、キング、クィーン、シングルトン、ボイド、トランプの内容を尋ねるコールとこれに対するレスポンス
- ナチュラルな NT に対するあらゆるコール。
1NT オープンに関しては 12HCP 以上で点数範囲が 5HCP 以内を満たしていない場合はコンベンショナルなレスポンスとリビッドは使用できない。更に相手方のディフェンス

に対してもコンベンションによる対抗を認めない。
バル関係やポジションなどによって点数範囲を変化させる取り決めは認めるが、連続しない2つのポイントレンジを同時に示す取り決めは認めない。

競り合いのコール (Competitive & Defensive calls)

1. コンベンショナルなダブルとリダブル
2. 相手方のテイクアウトダブルの後のサポートを示す 2NT レスポンス (トラスコット 2NT 等)
3. 特定のメジャースーツともう一つのスーツを示すキュービッド (マイケルズ、カラフル等)
4. レーベンソール (Lebensohl)
5. 以下に対するディフェンシブ・ビッド：
 - a) アーティフィシャル・ストロング 1♣
 - b) ナチュラルな NT オープンと NT オーバーコール
ただし、次のコンベンションに限定：ランディ、カペレッティ／ハミルトン (Landy、Cappelletti / Hamilton)
 - c) 2♣以上のオープニングビッド
6. 「レスポンスとリビッド」の No.4 ～ 8 は「競り合いのコール」でも使用できる。

リードとシグナル (Carding)

上からそれぞれ 3 番目 (3rd highest)、5 番目 (5th highest)、一番低い (lowest) カードをリードする合意

備考：コンベンション規定の一部ではないが、理解の容易化のために補足する。

- 1) リスト C のゲームでは使用できるが、リスト B のゲームでは使用不可なコンベンションの主なものは、
 - 強いアーティフィシャルな 1♣とこれと併用される 1♦オープンを除く 1 の代のコンベンショナルなオープン
 - フラナリー 2♥オープン
 - マイナー 2 スターハンドを示す 2NT オープン
 - 4♣/♦オープンを良い 4♥/♠オープンとする NAMYATS オープン
 - ゲームフォーシングの強さを保証しないクリスクロス
 - バーゲンレイズ
 - ブローゼル、DONT などの NT に対するディフェンシブビッド
 - アップサイドダウンシグナル
 - ラビンサルディスカード等がある。

2) アラートの要不要の概略は次の通り。

・リスト A :

アラート不要なもの :

強いアーティフィシャル 2♣オープンと 2♦レスポンス
ステイマン
ウィーク 2 に対する 2NT レスポンス
ブラックウッド、ガーバー
アンユージュアル NT など
ダブル、リダブル
キュービッド

アラートが必要なもの :

インビテーション以上のハンドの強さを保証しないウィーク 2 に対する 2NT レスポンス
フィット・ショウイングジャンプ
ディレードアラート対象のビッド
通常とは異なるトリートメント

・リスト B :

アラート不要なもの : リスト A と同じ

アラートが必要なもの :

前項以外の全てのコンベンショナルコール
ディレードアラート対象のビッド
通常とは異なるトリートメント

プリアラートが必要なもの

15 ~ 18HCP の範囲に収まらない 1NT オープン

リスト C (一般競技会用)

☆リスト A 及びリスト B のコンベンションリストを含む。

オープニングビッド (Opening bids)

- 10HCP 以上の強さを保証する多目的なアーティフィシャルあるいはナチュラルな 1♣、1♦オープン (例：プレシジョン 1♣、1♦、およびポーリッシュ 1♣など)
 - ・ナチュラルではあるが付随的な意味も併せ持つオープン。
例えば、1♦オープンが 4 枚メジャーを否定するハンドである場合など。
 - ・他の 1 レベルのオープンが一定以上の強さ/枚数を保証するため、残りすべてのハンドを 1♣あるいは 1♦でオープンするキャッチオールなオープンの場合
(例：プレシジョン 1♦オープン、5 枚メジャーシステムで 1♦オープンは 4 枚♦を保証するため 2 枚の♣で 1♣オープン)
- 以下の一つのハンドを示すアーティフィシャルな 2♣オープン：
 - a) 強いバランスしたあるいはアンバランスなハンド (「強い」の定義はリスト A 参照)
 - b) 10HCP 以上の 3 スターハンド (例：ローマン 2♣)
 - c) 4 コントロール以上ある 5 ルーザー以内のハンド。ただし 2♦オープンがハンドパターンに無関係な強いハンドを示す場合に限る。 (「強い」の定義はリスト A 参照)
- 以下の一つのハンドを示すアーティフィシャルな 2♦オープン：
 - a) 少なくとも 5-4 以上のメジャーを持つ 10HCP 以上のハンド (フラナリー、アンチフラナリーなど)
 - b) ハンドパターンに無関係な強いハンド (「強い」の定義はリスト A 参照)
 - c) 10HCP 以上で次のディストリビューションのハンド (4441)、(5440)、(5431)
 - d) 17HCP 以上のバランスハンド (1NT オープンに準じる)
 - e) 4 コントロール以上ある 5 ルーザー以内のハンド。ただし 2♣オープンがハンドパターンに無関係な強いハンドを示す場合に限る。 (「強い」の定義はリスト A 参照)
- オープンしたスーツを含む既知の 2 スターを示す 2 レベル以上のオープン：最低 10HCP の少なくとも 5-4 以上のハンドであること
- 少なくとも 5-4 以上のマイナーを示す最低 10HCP の 2NT 以上の NT オープン
- 以下の一つのハンドを示す 3NT オープン：
 - a) 任意のソリッドスーツ (any solid suit)
 - b) トップアナーを欠くマイナースーツ (a broken minor suit)
- 既知のスーツへの 4 レベルのトランスファーオープン (4♣/4♦オープンを良い 4♥/4♠オープンとして使用するなど)
- エース、キング、クイーン、シングルトン、ボイド、トランプの内容を尋ねる 2 の代以上の強いオープン (「強い」の定義はリスト A 参照)

レスポンスとリビッド (Responses and rebids)

- 全ての 1♣オープンに対するアーティフィシャルの 1♦レスポンス
- ゲームフォーシング以上の強さを保証するコンベンショナルなレスポンス。
「リレーシステム」の一部として使用してはならない。
- 3 番手、4 番手のメジャースーツオープンに対して、強さを尋ねる 2♣或いは 2♦レスポンス
- ナチュラルなスートに対してサポートやゲームフォーシングを示す 1 つあるいはそれ以上のジャンプシフト (NT へのジャンプも含む)
 - ・良いフィットを示すのであれば HCP が少なくとも良い (但しアラート必須)

5. 1 の代のスーツオープンに対してビッドしたスーツを含む既知の 5-4 以上を示すジャンプシフトレスポンス。
6. 15HCP 以上の 1 の代のオープニングビッドと 2♣以上のオープニングビッドに対するアーティフィシャルなコール
7. ナチュラルな NT に対するあらゆるコール。
1NT オープンに関しては 10HCP 以上で点数範囲が 5HCP 以内を満たしていない場合はコンベンショナルなレスポンスとリビッドは使用できない。更に相手方のディフェンスに対してもコンベンションによる対抗を認めない。
バル関係やポジションなどによって点数範囲を変化させる取り決めは認めるが、連続しない 2 つのポイントレンジを同時に示す取り決めは認めない。

競り合いのコール (Competitive & Defensive calls)

1. コンベンショナルなバランシングコールのすべて
2. コンベンショナルなダブルとリダブル、並びにこれに対するレスポンス (フリービッドを含む)
3. 以下の NT オーバーコール :
 - a) 少なくとも 5-4 以上で 1 つは既知の 2 スーターを示すテイクアウト
 - ・ 4 レベル以上では既知のスーツである必要はない
 - b) 3 スーターのテイクアウト
 - ・ テイクアウトダブルと同様、3 つのスーツはいずれも 3 枚以上あること
4. 少なくとも 5-4 以上の既知の 2 スーターを示すジャンプオーバーコールとこれに対するレスポンス
5. 相手スーツのキュービッドとこれに対するレスポンス
 - ・ 自分達がまだビッドまたはダブルをしていない場合のキュービッドがオープニングハンドに満たないこともあるときは、不特定ではなく、少なくとも 1 つは既知のスーツであること
例えば、1♥- 2♥などのキュービッドを 2 スーターオーバーコールに使う場合、オープンハンド相当の強さが無いこともあるならば、少なくとも 1 つのスーツが既知でなければならない。
「♦スーツあるいは♣+♠を示す」などと言う取り決めは許されない。
 - ・ 自分達がビッドまたはダブルをした後のキュービッドが平均的な手に満たないこともあるときは、不特定ではなく、少なくとも 1 つは既知のスーツであること
6. 以下に対するディフェンシブ・ビッド :
 - a) コンベンショナルなコール (テイクアウトダブルを含む)
 - b) ナチュラルな NT オープンと NT オーバーコール
 - c) 2♣以上のオープニングビッド
7. 「レスポンスとリビッド」の No. 4 ~ 7 は「競り合いのコール」でも使用できる。
8. サポートを示す全てのコール
9. 既知のスーツへの 4 レベルのトランスファーオーバーコール (4♣/4♦オーバーコールを良い 4♥/4♠オーバーコールとして使用するなど)

リードとシグナル (Carding)

以下を除くすべてのリードとシグナルの合意 :

- a) オッド・イーブンシグナル (odd-even signal)
- b) 暗号シグナル (Encrypted signals)

- ・ディクレアララーには分からず、ディフェンダー側のみが知っている情報（ディクレアララーがショウアウトしたときにディフェンダー側のそのスートの分布情報等）に基づいてプレイの途中から2種類のシグナルを切り替えて使用する方式。
- c) ディフェンダーの最初のディスカード (odd even first discard など)を除き、複数の意味を伝えるシグナル(オッド・イーブン・シグナルは最初のディスカードに限り使用できる)
- d) 一定のテンポを維持してプレイしていると見なされないシグナル方式すべて

リスト D [以下の競技会の最上位フライト：全日本地域対抗選手権決勝の RR 予選、柳谷杯、東京インビテーショナル、山口知也杯、藤山杯、大桑杯、萩原杯、神奈川県知事杯、東京都知事杯、春季リジョナル、渡辺杯、クラブリーグ I 部、IMP リーグオープン（主催団体が指定）]

1. HUM システム及び **Brown Sticker** コンベンションは使用不可 (WBF システムポリシー参照)
2. リスト C で制限されているコンベンションを使用することができるが、これを使用するペアは試合要項に従ってコンベンションカードを事前提出する義務がある。リスト D 以上に該当するコンベンションは、WBF コンベンションカードの「SPECIAL BIDS THAT MAY REQUIRE DEFENCE」欄あるいは JCBL コンベンションカードの「OTHER CONVENTIONAL CALLS」欄の空白部分に列記すること。事前提出できるコンベンションカードは 1 ペアにつき 1 種類まで。事前提出したコンベンションカードの使用を止める場合はディレクターに申告すること。以降事前提出したコンベンションカードを使用することはできなくなる。
3. その他の事項については、WBF システムポリシーの邦訳に準拠する。
4. リスト C 以下のシステムのみを使用するペアは事前提出の必要はなく WBF コンベンションカード及び JCBL コンベンションカードのどちらでも使用できる。ただし補足シートの使用は認めない。
5. 相手方のどちらかのメジャーのウィーク 2 を含む 2 の代のマイナーのオープンに対するディフェンスのサマリーを使用する場合はラウンド開始前までに 2 部、対戦相手に提出すること。このサマリーは対戦相手のサマリーの一部となり試合中に参照できます。

リスト E [以下の競技会の最上位フライト：高松宮記念杯、朝日新聞社杯、全日本地域対抗選手権 (KO ラウンド)、日本リーグ II 部、兵庫県知事杯、木村六郎杯、IMP リーグオープン（主催団体が指定）]

1. HUM システムは使用不可。
2. **Brown Sticker** コンベンションは十分な開示を前提に使用できるが、これを使用するペアは試合要項に従ってコンベンションカード及び **Brown Sticker Announcement Form** を事前提出する義務がある。同時に全ての **Brown Sticker** コンベンションに対する、使用に耐えるサンプルディフェンスを提出しなければならない。このサンプルディフェンスはコンベンションカードの一部と見なされ、相手方がテーブルで参照することができる。
3. 相手方のシステムの **Brown Sticker** に該当する部分に対するディフェンスのサマリーを使用する場合はラウンド開始前までに 2 部ディレクターに提出すること。このサマリーは対戦相手のサマリーの一部となり試合中に参照できる。
4. その他の事項については、WBF システムポリシーの邦訳に準拠する。

リスト F (日本リーグ I 部)

1. 十分な開示を前提に全てのシステムの使用が許されるが、HUM システムを使用するチームは試合要項に従ってコンベンションカードを事前提出する義務がある。
2. その他の事項については、WBF システムポリシーの邦訳に準拠する。

補足

コンベンションリスト適用上、問題となるかもしれない若干の事例について、競技委員会の見解を記述します。

なお、競技委員会では、競技会参加者やディレクターからの提案、疑問点等を検討し、以下のリストを整備しようと考えていますので、積極的にコンベンションリスト適用に係わる事例を当委員会宛に文書でお寄せ下さる様にお願いします。

- 1) コンベンションリストで規定されている HCP 等の条件を満たさないハンドでオープンした場合について補足説明する。
相手方が損害を受けたとディレクターが判断した場合、使用システム・コンベンション違反（競技会運営規則の要約、p.72 参照）としてスコア調整の対象となる。
これらの条項はディレクターがサイキックと判断した場合は適用しない。
※リスト D 以下の競技会ではコンベンショナルなオープニングビッドのサイキックは禁止

リスト C 以下の競技会

- (a) ウィーク 2：オープンするスーツ (5 枚以上) と HCP の合計が 10 以上 (Rule of 10) を満たさない場合
- (b) 1NT オープン：ナチュラルの定義に当てはまらない場合
- (c) ミニ 1NT・ウィーク 1NT：9HCP 以下の場合
※ハンドの強さと形によらず、9HCP 以下の場合はスコア調整の対象となる
- (d) フラナリー 2♦：9HCP 以下の場合
プレシジョン 1♦、プレシジョン 2♦、3 スーターを示す 2♣・2♦、10HCP 以上の強さを保証する多目的なアーティフィシャルあるいはナチュラルな 1♣・1♦オープン、オープンしたスーツを含む既知の 2 スーターを示す 2 レベル以上のオープン、5-4 以上のマイナーを示す 2NT 以上の NT オープンも同様
- (e) 17HCP 以上のバランスハンドを示す 2♦：16HCP 以下の場合
- (f) 強い 2♣：「強い」の定義に当てはまらない場合

リスト D 以上の競技会

- (g) ウィーク 2：オープンするスーツが 4 枚以下の場合。なお Rule of 10 の制限はない。
- (h) 1NT オープン：ナチュラルの定義に当てはまらない場合
- (i) 強い 2♣：「強い」の定義に当てはまらない場合

※(g) (h) (i) を含むコンベンションを記載したコンベンションカードを事前提出した場合には使用できる（アラート必須）

- 2) リスト B において DruryFit を取り決めているペアが、3rd ハンドのメジャーオープンで 7HCP 以下の場合はスコアを調整する。
- 3) HCP の幅の上限を越えたオープン
例えばウィーク 2 オープンが 6-10HCP の取り決めの場合に、4th ハンドで 13HCP でオープンしてもコンベンション制限違反とはしない。
1NT オープン、フラナリー 2♦オープンについても同じ。
- 4) 3 レベル以上のオープンについてはハンドの強さなどの条件はない。
- 5) ウィーク 2 に対する 2NT レスポンスにインビテーション以上の強さがない場合で、アラートがなくこれにより相手方が損害を受けたとディレクターが判断した場合はアラート違反として処置する

- 6) 相手のオークションの妨害を主な目的とするコンベンションや合意はリスト C 以下の競技会で許されない
例：「ストロング 1♣に対して強さやハンドパターンに無関係にシステムチックに 1♠のオーバーコールする」「オープニングビッドにダブルがかけられたら自動的に 1♠をビッドする」など、「自分のハンドを示さない」合意や「パートナーが自分のハンドに従って行動することを禁じる」合意は許されない。
- 7) 短いスーツからナチュラル（マイナーズは 3 枚以上、メジャースーツは 4 枚以上）にオープンし、後で長いスーツをビッドする「カナッペ」はトリートメントとする。これに対するコンベンショナル・レスポンスは各リストの規定に従う。オープニングビッドがナチュラルでない場合は、リスト E となる。
- 8) リレーシステムはリスト C 以下の競技会で使用できない。
リレーシステムとは一方のプレイヤーが自分のハンドを示すことなく、パートナーのハンドの強さや形、絵札の位置などを尋ねるビッドを繰り返し、最終コントラクトを決定するビディングシステムをいう。
パートナーのオープニングビッドに対してすぐに 4NT などエースまたはキーカードの数を尋ねた後に最終コントラクトをビッドした場合は、自分のハンドを示していないが、リレーシステムには該当しない。
- 9) 複数システムの併用はリスト C 以下の競技会で使用できない。
・バルネラビリティによるシステムの切り替え、
・オープニングビッドの位置によるシステムの切り替えなど。
- 10) セッション途中でコンベンションを変えることはできるが、システムを変えることはできない。
相手方のコンベンションカードを見てディフェンシブビッドを変えることができるが、これを相手方に伝えなければならない。これに対して相手方はシステムを変えることはできない。
- 11) 複数の意味を伝える「デュアル・メッセージ・シグナル」とは、一時点で複数の意味を伝えるものを言う。例えば、パートナーの K のリードに対して、7632 のカードから 3 をプレイしてノンカモンし、後で 2 をプレイして偶数枚を示しても「複数の意味を伝えるシグナル」とはならない。（オブビアス・シフト・プリンシプル Obvious shift principle は「デュアル・メッセージ・シグナル」ではない。）
- 12) 1 の代のスーツオープンに対してテイクアウトダブル（=コンベンショナルコール）が入った場合には、すべてのコンベンショナルレスポンスがリスト C で使用できる。
しかし、リスト B ではテイクアウトダブルに対する低いレベルでのトランスファータイプのレスポンスの使用は認められない。
- 13) 15-17HCP の 1NT オープンの取り決めにおいて、14HCP+5 枚スーツの評価、あるいは 10 や 9 の評価などにより 1NT オープンする場合は、(14) 15-17HCP と表記すること。
(14) 15-17HCP のときは、アラートやプリアラートを必要としない。

コンベンションリストの適用について

1. コンベンションの使用規制は、マスターポイントによる参加制限、ゲームの種類などによって競技会を A ～ F の 6 つのランクに分ける。
2. リスト A および B は、ペアまたはチームの内の 1 人だけに制限のある競技会にも適用する。
3. この規定は、セクショナル以上の JCBL 主催及び公認競技会に適用する。
リスト A：マスターポイント 20 点未満の参加制限のある競技会用
リスト B：マスターポイント 300 点未満の参加制限のある競技会用
リスト C：一般競技会用
リスト D：同一ペアと続けて 6 ボード以上をプレイする、オープン、リジョナル以上、2 セッション以上、複数フライト競技会の最上位フライトに適用する。
(単一フライトや下位フライトはリスト C) ただし
 - 1) クラブリーグの I 部はリスト D とする
 - 2) IMP リーグのオープンリーグ (主催団体が指定する)
 - 3) 全日本地域対抗戦フライト A 関東一次予選はリスト C とするリスト E：同一ペアと続けて 12 ボード以上をプレイするチーム戦の内、
 - 1) ナショナル競技会の最上位フライト
 - 2) リジョナル競技会の最上位フライト
 - 3) 日本リーグ II 部
 - 4) IMP リーグのオープンリーグ (主催団体が指定する)リスト F：日本リーグ I 部のみに適用。

ストラティファイド戦は最上位フライトの MP 制限に基づく。

該当する競技会に適用されるコンベンションリストの範囲内であるならば、主催団体の権限で、より厳しくコンベンションの使用を制限することができる。

主催団体は競技委員会に申請し認められれば上位のリストで開催することができる。

リスト D 認可のガイドラインは以下の通り。

- ・セクショナル以上のレイティングで 2 セッション以上の競技会であること。
- ・1 ラウンドに継続して 6 ボード以上をプレイすること。
- ・参加制限がオープンであること。ストラティファイドは不可。
- ・複数フライト場合は最上位フライトのみ。ただし複数フライトでなくても可。
- ・コンベンションカードの事前提出に対応できること。

ローカル以下の競技会については、主催団体の意向により自由に制限を設定できるが、事前に公表すること。リスト C 以下に制限する場合には、「JCBL コンベンションリスト」にある使用禁止事項の使用を認めることはできない。

4. 競技会参加者の便宜のため、JCBL 会報の「競技会案内」にある競技会ごとにリスト C (一般競技会用) を除き、A、B、D、E、F の表示により使用可能なコンベンションの範囲を明示する。
5. コンベンションリストの使用規制は、パートナー間の合意に対してだけに留まらず、実際にしたコールについても適用される。

コンベンションカードの携帯義務

(下線部は本年度改訂部分)

1. 競技会に於けるコンベンションカードの携帯義務は、「JCBL コンベンションリスト」A～Fの6段階に応じて次の通りとする。

リスト A：コンベンションカードの携帯義務はないが、JCBL コンベンションカードに NT のオープンの点数範囲およびリードの取り決めなどを記入しておくことが望ましい。

リスト B、C：JCBL コンベンションカードに記入する。

リスト D、E、F：JCBL もしくは WBF コンベンションカードに記入する。
リスト D 以上のコンベンションを使用するペアは試合要項に従ってコンベンションカードを事前提出する義務がある。リスト D、E、F の競技会でもリスト C 以下のシステムのみを使用するペアは事前提出の必要はない。補足シートの使用については WBF SYSTEM POLICY を参照 (p.100)。

~~注意) コンベンションカード等に必要な説明を記入しきれないコンベンションの使用は認めない。(削除)~~

2. コンベンションカード等は、同一記載内容のものをペアの各プレイヤーが 1 部ずつ計 2 部を携帯し競技会のテーブル上に提示しなければならない。
この携帯義務を怠り、直ちに必要なコンベンションカードを準備できないペアに対しては、1) 使用コンベンションをリスト A に限定する。
2) ディレクターは「ビッドの間違い」か「説明の間違い」かの裁定に際し、「説明の間違い」であると判断する。
3. WBF コンベンション・カードなどの記入方法については、JCBL ホームページの「WBF コンベンションカード記入ガイド」を参照のこと。
4. コンピュータで作成したコンベンションカードも使用が認められるが、次の条件を満たすこと。
 - 1) 正規のコンベンションカード (JCBL、WBF) とほぼ同じ形式であること
 - 2) ゼネラルアプローチとペアの名前が適切に記入されていること。